

# 三遠南信サミット 2010 in 南信州 サミット宣言

San-En-Nanshin SUMMIT

第 18 回三遠南信サミット in 南信州では、「地域主権時代における県境地域連携モデルの推進—融合に向けた自発的な地域づくりの実践—」をテーマとし、トップ対談において地域の目指すべき姿を語り、「道」「技」「風土」「山・住」の各分科会において、自発的な地域づくりについて議論を深めてまいりました。

私たち三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）は、今回のサミットでの議論を踏まえ、次の事項に重点を置き、地域主権時代における県境地域連携を自負と責任を持って先導してまいります。

- 1 圏域の背骨となる三遠南信自動車道の早期開通をはじめ、リニア中央新幹線の早期開業と圏域北部の玄関口となるリニア中央新幹線飯田駅の設置を目指すとともに、東西南北高速移動時代に備えた浜松三ヶ日・豊橋道路等の整備、三遠伊勢連絡道路の実現に向け、三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）を中心とした強固な連携の下、地域一丸となって提言活動を進めます。
- 2 新産業の集積と基幹産業化、既存産業の再成長に向け、産学官金連携を一層強固にし、次世代輸送用機器、農商工連携、医工連携、光エネルギー環境分野の取り組みを加速させるとともに、海外市場も見据えながら広域的な展開を図ります。  
また、三遠南信地域の大学・研究機関等の連携を促進する三遠南信地域大学フォーラムの設置に向けた取り組みを進めます。
- 3 三遠南信地域の塩の道エコミュージアムを構成する歴史的・文化的な地域資源の情報の一元化と発信体制の強化を図ります。  
また、三遠南信地域社会雇用創造事業を通して社会的企業を支える人材の育成や社会的企業の起業支援に取り組み、三遠南信 250 万流域都市圏を支える雇用創造ネットワークの構築を目指します。
- 4 安全・安心な地域づくりの実現に向け、地域住民の生命、身体、財産等を災害から守るために県境を越えた広域防災連携を推進します。  
また、中山間地域における定住促進や流域定住推進モデルの形成に向け、情報の一元化と圏域内外への発信体制の整備に取り組みます。
- 5 三遠南信地域の融合に向けて、広域連合など平成 24 年度からの新・連携組織への移行について準備を進めます。

これらの取り組みを、ここに集うすべての主体が確認し、第 18 回三遠南信サミット 2010 in 南信州のサミット宣言といたします。

平成 22 年 11 月 12 日

三遠南信地域連携ビジョン推進会議  
三遠南信サミット 2010 in 南信州